

1. 議 事 日 程 (4日目)

(平成29年那智勝浦町議会第1回定例会)

平成29年3月10日

9時30分 開 議

於 議 場

日程第1 議案第13号 平成29年度那智勝浦町水道事業会計予算…………… 194

日程第2 議案第14号 平成29年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算…………… 201

2. 出席議員は次のとおりである。(11名)

1番 荒尾典男	2番 左近誠
3番 下崎弘通	5番 石橋徹央
6番 金嶋弘幸	7番 曾根和仁
8番 引地稔治	9番 亀井二三男
10番 津本・光	11番 森本隆夫
12番 東信介	

3. 欠席、遅参、離席及び早退議員は次のとおりである。

4番 中岩和子 欠席

4. 地方自治法第121条第1項により説明のため出席した者の職氏名(14名)

町 長 寺本真一	副町長 植地篤延
教育長 森 崇	消防長 峯幸生
参事 (総務課長) 城本和男	教育次長 下康之
会計管理者 田代雅伸	病院事務長 喜田直
税務課長 久葛章功	住民課長 矢熊義人
福祉課長 塩崎圭祐	観光産業課長 在伸靖二
建設課長 橋本典幸	水道課長 関正行

5. 職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名(3名)

事務局長 伊藤善之
事務局主査 青木徳之
事務局主査 疋田晋一

~~~~~ ○ ~~~~~

〔7番曾根和仁議長席に着く〕

○副議長（曾根和仁君） おはようございます。

再開に先立ち傍聴者の皆様をお願いいたします。

傍聴に際しては、お手元の傍聴券に記載しております傍聴人規則を遵守し、議事の円滑な進行に御協力いただきますようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

9時30分 開議

○副議長（曾根和仁君） ただいまから再開します。

本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第1 議案第13号 平成29年度那智勝浦町水道事業会計予算

○副議長（曾根和仁君） 日程第1、議案第13号平成29年度那智勝浦町水道事業会計予算を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

水道課長関君。

○水道課長（関 正行君） おはようございます。水道課です。どうかよろしくをお願いいたします。

議案第13号平成29年度那智勝浦町水道事業会計予算について御説明させていただきます。

なお、平成29年度からは、下里太田簡易水道、浦神簡易水道がこれまで簡易水道事業費特別会計となっており別会計となっておりましたが、29年度からは統合となり、そのため業務量及び予算額は大幅にふえております。

1ページをお願いいたします。

議案第13号平成29年度那智勝浦町水道事業会計予算。

第1条、平成29年度那智勝浦町水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

第2条、業務の予定量でございます。(1)給水戸数は8,873戸となっております。これは、これまで上水道の分が6,828、旧簡水が2,045件となっております。簡易水道だけではなく上水道の閉栓、開栓等によるものもございまして、簡易水道との数値は一致しておりません。(2)年間総給水量は221万立方メートル、前年度に比べまして35万立方メートルの増でございます。(3)1日平均給水量は6,054立方メートルで、前年度に比べまして959立方メートルの増でございます。(4)建設改良事業といたしまして、送配水施設整備及び災害復旧工事を予定しております。

第3条、収益的収入及び支出の予定額でございます。

収入でございます。

第1款水道事業収益は4億7,180万1,000円、内訳といたしまして、第1項営業収益4億

2,051万8,000円、第2項営業外収益5,128万3,000円を予定しております。

支出でございます。

第1款水道事業費用は5億5,814万3,000円、内訳といたしまして、第1項営業費用4億8,588万円、第2項営業外費用7,146万3,000円でございます。第3項特別損失30万円、第4項予備費50万円を予定いたしております。

今年度におきましても、収益的収支の予算額はマイナスの予算編成となっております。これは簡易水道統合整備事業の完成による減価償却費の増及び企業債利子の増が大きな要因となっております。なお、減価償却費におきましては、現金収支への影響は少ないと考えておりますが、水道課といたしましては、今後の施設の延命化及び整備、改修等も踏まえ、料金改定について慎重に協議を進めていきたいと考えております。

2ページをお願いいたします。

第4条、資本的収入及び支出の予定額でございます。

収入でございます。

第1款資本的収入3億1,077万円、内訳といたしまして、第1項企業債2億4,470万円、第2項負担金820万円、第3項補助金5,787万円を予定いたしております。

支出でございます。

第1款資本的支出4億3,756万5,000円、内訳といたしまして、第1項建設改良費3億2,938万2,000円、第2項企業債償還金1億818万3,000円を予定いたしております。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額1億2,679万5,000円につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,378万4,000円、過年度分損益勘定留保資金1億301万1,000円で補填するものでございます。

(特例的収入及び支出)、第4条の2につきましては、簡水の統合に当たり債権及び債務の額を定めたものでございます。

第5条は企業債の借入限度額を定めるものでございます。送配水施設整備事業及び災害復旧事業で2億4,470万円と定めるものでございます。

3ページをお願いいたします。

第6条は、一時借入金の限度額を2億5,000万円と定めるものでございます。

第7条は、経費の流用範囲を定めるものでございます。

第8条は、経費の流用禁止項目を定めるものでございます。

第9条は、たな卸資産の購入限度額を370万4,000円と定めるものでございます。

4ページをお願いいたします。

予算実施計画でございます。

収益的収入及び支出。

収入でございます。

款1水道事業収益、予定額は4億7,180万1,000円、前年度に比べまして6,550万円の増となっております。

内訳といたしましては、第1項営業収益の目1給水収益から目2その他営業収益まで、予定額4億2,051万8,000円、前年度と比べまして5,950万円の増となっております。

項2営業外収益の目1分担金から目4雑収益までの予定額5,128万3,000円は、前年度に比べまして600万円の増となっております。

5ページをお願いいたします。

支出でございます。

款1水道事業費用、予定額5億5,814万3,000円は、前年度と比べまして1億476万4,000円の増でございます。

内訳といたしまして、項1営業費用、目1原水及び浄水費から目6その他の営業費用までの予定額は4億8,588万円で、前年度に比べまして9,694万9,000円の増でございます。

項2営業外費用、目1支払利息及び企業債取扱諸費から目3雑支出までの予定額は7,146万3,000円で、前年度に比べまして781万5,000円の増となっております。

項3特別損失、目1過年度損益修正損は30万円を予定いたしております。

項4予備費につきましては50万円を予定いたしております。

6ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出。

収入でございます。

款1資本的収入、予定額3億1,077万円は、前年度に比べまして2億9,497万円の増となっております。

内訳といたしまして、項1企業債2億4,470万円、項2負担金820万円、項3補助金5,787万円を予定いたしております。

支出でございます。

款1資本的支出、予定額は4億3,756万5,000円で、前年度に比べまして3億732万6,000円の増となっております。

項1建設改良費につきましては、目1固定資産購入費から目4災害復旧費まで、予定額3億2,938万2,000円で、前年度に比べ2億8,397万2,000円の増でございます。

項2企業債償還金は1億818万3,000円で、前年度に比べまして2,335万4,000円の増でございます。

8ページをお願いいたします。

給与費明細書でございます。8ページから13ページまでの記載につきましては、記載のとおりでございます。説明は省略させていただきます。

14ページ、15ページをお願いいたします。

平成28年度の予定損益計算書でございます。税抜きでございます。

15ページの下から3段目の当年度純損失は3,399万3,000円、前年度繰越利益剰余金が1億6,072万8,000円で、当年度未処分利益剰余金は1億2,673万5,000円となります。

16ページ、17ページをお願いいたします。

平成28年度の予定貸借対照表でございます。税抜きとなっております。

資産の部の固定資産合計49億7,687万2,000円と流動資産合計5億1,475万8,000円を合わせました資産合計は54億9,163万円となっております。

17ページをお願いいたします。

負債の部の固定負債合計26億2,136万4,000円、流動負債合計1億2,325万1,000円、繰延収益合計8億1,699万2,000円で、それらを合わせました負債合計が35億6,160万7,000円となります。

資本の部の資本金合計が16億269万8,000円で、剰余金合計が3億2,732万5,000円でありますので、資本合計として19億3,002万3,000円となり、負債合計と資本合計を合わせた負債資本合計が54億9,163万円となり、16ページの資産合計と同額となるものでございます。

18ページをお願いいたします。

平成29年度予定貸借対照表でございます。資産の部、負債の部、資本の部、それぞれ税抜きで記載しております。

資産の部でございます。

1 固定資産につきましては、(1)有形固定資産のイ土地からト建設仮勘定までの有形固定資産合計は61億6,548万2,000円、(2)無形固定資産合計は38万8,000円でございますので、これらを合わせました固定資産合計は61億6,587万円でございます。

次に、2の流動資産でございますが、(1)現金預金が5億1,031万6,000円、(2)未収金が9,129万4,000円、貸倒引当金が940万1,000円、これを差し引きますと8,189万3,000円となります。これに貯蔵品、前払金を合わせました流動資産合計は6億237万7,000円。

1 固定資産合計と2 流動資産合計を合わせました資産合計は67億6,824万7,000円となるものでございます。

次の19ページは負債の部、資本の部でございます。

3 固定負債の(1)企業債、イ建設改良費等の財源に充てるための企業債34億6,892万6,000円で、固定負債合計におきましても34億6,892万6,000円となっております。

4 流動負債でございますが、(1)企業債、イ建設改良費等の財源に充てるための企業債8,726万5,000円、(2)未払金1,005万円、(3)引当金といたしまして、イ賞与引当金320万円、ロ修繕引当金1,200万円、(4)その他流動負債50万円を合わせました流動負債合計は1億1,301万5,000円となっております。

5 繰延収益といたしまして、(1)長期前受金として12億4,112万9,000円、収益化累計額といたしまして2億5,775万3,000円、これを差し引きました繰延収益合計が9億8,337万6,000円となり、負債合計は、3 固定負債合計、4 流動負債合計、5 繰延収益合計を合わせました45億6,531万7,000円となるものでございます。

次に、資本の部でございますが、6の資本金は、(1)の自己資本金が19億6,799万2,000円で、資本金合計は19億6,799万2,000円でございます。

7の剰余金でございますが、(1)の資本剰余金合計2億59万円、(2)の利益剰余金合計が

3,434万8,000円、合わせまして剰余金合計が2億3,493万8,000円でございます。

6の資本金合計と7の剰余金合計を合わせました資本合計は22億293万円でございます。これに負債合計45億6,531万7,000円を合わせまして、一番下の負債資本合計67億6,824万7,000円となり、18ページの資産合計と同額となるものでございます。

20ページをお願いいたします。

平成29年度那智勝浦町水道事業予定キャッシュ・フロー計算書でございます。

1業務活動によるキャッシュ・フロー、2投資活動によるキャッシュ・フロー、3財務活動によるキャッシュ・フローの4資金増加額は1,106万2,000円で、5資金期首残高を合わせました6資金期末残高5億1,031万6,000円は、18ページの予定貸借対照表の2流動資産の(1)現金預金と一致するものでございます。

次に、21ページ、22ページをお願いいたします。

これにつきましては注記表でございます。注記とは、財務諸表を作成するに当たり採用した会計処理の基準を開示するために記載するものであります。記載のとおりでございます。説明は省略させていただきます。

23ページをお願いいたします。

実施計画明細書でございます。

収益的収入及び支出。

収入でございます。

款1水道事業収益、項1営業収益、目1給水収益、節1水道料金は4億1,638万3,000円で、前年度に比べ5,862万3,000円の増、節2量水器使用料は412万5,000円で、前年度に比べ87万7,000円の増、2その他営業収益、節1手数料は、前年度と同額の1万円を予定いたしております。

項2営業外収益、目1分担金、節1加入分担金は374万2,000円で、前年度と比べまして115万円の増でございます。

目2他会計補助金、節1一般会計補助金615万2,000円につきましては、宇久井辺地債の交付税措置分でございます。

目3長期前受金戻入は4,132万8,000円でございます。

目4雑収益は6万1,000円でございます。

24ページをお願いいたします。

支出でございます。これらの支出につきましても、簡易水道の統合により各費用は増となっております。

主な項目について御説明させていただきます。

款1水道事業費用、項1営業費用、目1原水及び浄水費、本年度1億1,300万3,000円、前年度と比較しまして2,904万円の増となっております。節1給料から節6法定福利費引当金繰入額につきましては、職員3名分でございます。節4の賃金1,370万8,000円は、浄水場臨時職員賃金4名分及び維持管理作業員分でございます。節12委託料1,429万8,000円のうち浄水場警備

委託598万8,000円につきましては、太田川浄水場警備保障委託料及び宇久井浄水場機械警備委託料でございます。膜モジュール薬品洗浄作業委託540万円につきましては、宇久井浄水場分でございます。その他につきましては、施設管理に要する委託料でございます。25ページをお願いいたします。節15修繕費は1,257万2,000円でございます。昨年度に比べ246万円の増でございます。節16動力費3,890万円につきましては、前年度と比較しまして740万円の増となっております。

目2配水及び給水費4,986万3,000円につきましては、前年度に比べまして1,608万4,000円の増でございます。節1給料から節5法定福利費引当金繰入額につきましては、職員2名分でございます。節8委託料1,095万9,000円は、前年度と比べまして596万7,000円の増で、主なものといたしましては、説明欄3行目の水質検査委託で3年に1回の農薬類検査の増、5行目の管路情報システム補正業務委託の増と簡水統合による増となっております。26ページをお願いいたします。節10賃借料322万円のうち283万5,000円につきましては、管路情報システムの借上料でございます。節11修繕費1,776万9,000円につきましては、説明欄に記載させていただいております修理に要する費用をお願いするものでございます。

目3総係費6,018万4,000円につきましては、前年度に比べまして787万9,000円の減でございます。節1給料から節6法定福利費引当金繰入額につきましては、職員4名分でございます。節4賃金396万4,000円につきましては、臨時職員2名分の賃金でございます。節14委託料1,301万円につきましては、前年度に比べまして976万6,000円の減となっております。減となった主な要因は、水道事業計画策定業務委託の減によるものでございます。節16賃借料366万7,000円は、各システム等の借上料でございます。

28ページをお願いいたします。

目4減価償却費2億6,077万9,000円につきましては、昨年度より簡水統合により5,970万4,000円の増となっております。

目5資産減耗費、目6その他営業費用につきましては、前年度と変わりございません。

29ページをお願いいたします。

款1水道事業費用、項2営業外費用、目1支払利息及び企業債取扱諸費5,486万3,000円は、前年度より881万5,000円の増となっており、これも簡易水道統合によるものでございます。企業債利息といたしまして、財務省33件、1,116万円、地方公共団体金融機構48件、4,300万3,000円でございます。

目2消費税につきましては、仮受消費税から仮払消費税を引いた1,650万円を予算計上させていただいております。

目3雑支出につきましては、前年度と同額でございます。

項3特別損失、目1過年度損益修正損30万円につきましても、前年度と同額でございます。

項4予備費50万円も、前年度と同額を計上させていただいております。

30ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出でございます。

款1 資本的収入、項1 企業債、目1 企業債2億4,470万円は、前年度に比べまして2億2,890万円の増で、配水施設整備事業及び災害復旧事業のために借り入れるものでございます。

項2 負担金、目1 他会計負担金120万円につきましては、消火栓設置工事に係る負担金でございます。

目2 工事費負担金700万円につきましては、県の河川橋梁工事に伴う添架管工事補償金でございます。

項3 補助金、目1 国庫補助金5,787万円につきましては、市野々水系の災害復旧工事に係る補助金でございます。

31ページをお願いいたします。

支出でございます。

款1 資本的支出、項1 建設改良費、目1 固定資産購入費、節1 備品購入費246万7,000円は、量水器購入及び事務所のエアコンの取りかえに係るものでございます。

目2 送水施設整備費6,201万3,000円につきましては、説明欄記載の太田川水系送水管基本設計業務委託及び長野川河川整備に伴う橋梁添架管工事でございます。

目3 配水施設整備費3,846万9,000円につきましては、説明欄記載のとおり、市野々配水池基本設計業務委託と天満地内、湯川地内及び南大居地内の配水管の布設替工事でございます。

目4 災害復旧費2億2,643万3,000円につきましては、市野々水系におきます導水、取水の施工管理業務委託及び工事を予定いたしております。

項2 企業債償還金、目1 企業債償還金1億818万3,000円は、前年度に比べまして2,335万4,000円増で、これにおきましても簡水統合によるものでございます。

水道事業につきましては以上でございます。どうかよろしくをお願いいたします。

○副議長（曾根和仁君） では、質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 質疑を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 討論を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

議案第13号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。



〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第14号 平成29年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算

○副議長（曾根和仁君） 日程第2、議案第14号平成29年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） おはようございます。

それでは、議案第14号について御説明申し上げます。

1ページをお願いいたします。

議案第14号平成29年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算。

第1条、平成29年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算は、次に定めるところによる。

第2条、業務の予定量は次のとおりとする。(1)病床数は150床で、うち60床が療養型となっております。(2)年間患者数は8万9,688人で、うち入院が4万2,596人、外来が4万7,092人。続きまして、(3)1日平均患者数は309人で、うち入院が116人、外来193人を予定しております。また、(4)主要な建設改良事業といたしまして、施設維持補修工事、医療機器整備及び病院情報システム整備、新病院建設事業を予定しております。

第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入です。

第1款病院事業収益22億3,103万1,000円、第1項医業収益18億9,081万円、第2項医業外収益3億3,948万9,000円、第3項特別利益73万2,000円を予定しております。

2ページをお願いいたします。

支出につきましては、第1款病院事業費用22億5,747万1,000円、第1項医業費用21億9,725万7,000円、第2項医業外費用2,121万4,000円、第3項特別損失3,900万円を予定しております。

次に、第4条ですが、資本的収入及び支出の予定額を定めるものでございます。

収入です。

第1款資本的収入26億2,169万円、うち754万7,000円が現病院分、26億1,414万3,000円が新病院建設に係るものです。

第1項企業債11億8,150万円、全て新病院建設に係るものでございます。

第2項負担金12億4,999万円、うち754万7,000円が現病院分、12億4,244万3,000円が新病院建設に係るものです。

第3項補助金1億9,020万円、これは新病院建設に係るものです。

支出でございますが、第1款資本的支出26億7,289万円、第1項建設改良費26億5,447万2,000円で、現病院分が1,287万6,000円、新病院の分が26億4,159万6,000円となっております。

す。

第2項企業債償還金、5件で1,621万8,000円、第3項看護師等貸付金220万円を計上しております。

資本的収入が資本的支出に対して不足する額5,120万円は、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税資本的収支調整額で補填させていただきます。

第5条は、起債の目的、限度額、起債の方法及び利率、償還方法を定めるものでございます。

3ページをお願いいたします。

第6条は、一時借入金の限度額を6億円と定めるものです。

第7条は、経費の流用範囲を定めるものです。

第8条は、経費の流用禁止事項を定めるものです。

第9条は、たな卸資産の購入限度額を3億1,932万7,000円と定めるものです。材料費の中の薬品費の額となっております。

第10条は、重要な資産の取得となっており、新病院に関する機器、備品の取得について3ページから4ページにわたって記載させていただいております。

平成29年3月7日提出。那智勝浦町長でございます。

恐れ入ります、5ページをお願いいたします。

5ページから8ページまでは実施計画です。これを詳しく掲載したものが28ページから38ページの実施計画明細書でございます。後ほど詳しく説明させていただきます。

恐れ入ります、9ページをお願いいたします。

9ページから14ページまでは給与費の明細となっております。職員については117名の予定となっております。

以下、それぞれ記載のとおりですので、説明を省略させていただきます。

15ページをお願いいたします。

平成28年度予定損益計算書です。税抜きで記載してございます。

次の16ページの下から3行目を見てくださいと、当年度純損失1億5,288万7,000円を見込むものです。前年度繰越欠損金が3億8,984万5,000円ですので、28年度未処理欠損金は5億4,273万2,000円を見込むものでございます。

17ページから20ページまでは、平成28年度末の予定貸借対照表で、税抜きで記載しております。

まず、資産の部ですが、1固定資産、(1)有形固定資産はイの土地からトの建設仮勘定までで21億9,774万2,000円、(2)無形固定資産168万2,000円となる予定でございます。18ページをお願いいたします。(3)投資、看護師等貸付金を合わせました固定資産合計が右上段の21億9,942万4,000円の予定でございます。2流動資産につきましては、(1)現金預金が9億6,185万7,000円、(2)未収金が2億3,838万円、この大部分は国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金などへ請求する診療収入でございます。(3)貯蔵品、(4)前払金を合わせまして、

流動資産計12億1,682万円、資産合計といたしまして34億1,624万4,000円となる予定でございます。

19ページをお願いいたします。

負債の部ですが、3 固定負債の計といたしまして14億6,999万2,000円、4 流動負債の計といたしまして9 億4,764万8,000円、うち(3)未払金8 億6,378万2,000円を予定しております。5 繰延収益の計が7 億8,113万3,000円、負債合計といたしまして31億9,877万3,000円となる予定でございます。

20ページをお願いいたします。

次の資本の部ですが、6 資本金、(1)自己資本金の計、資本金合計が6 億2,351万2,000円、7 の剰余金ですが、(1)資本剰余金と(2)利益剰余金を合わせましてマイナスの5 億4,273万2,000円で、19ページの3 流動負債、4 資本金と合わせまして、負債資本合計34億1,624万4,000円となる予定でございます。これは18ページの資産計と合致するものでございます。

21ページをお願いいたします。

21ページから24ページまでは平成29年度の予定貸借対照表です。

21ページと22ページは資産の部、23ページ、24ページは負債、資本の部となっております。

21及び22ページの資産の部の1 固定資産、(1)有形固定資産のイの土地からトの建設仮勘定までの有形固定資産合計は54億7,493万5,000円、(2)無形固定資産合計は168万2,000円、(3)投資合計は2 億6,376万円で、固定資産合計が57億4,037万4,000円となる予定でございます。2 流動資産は、(1)現金預金が2 億9,667万2,000円、(2)未収金につきましては2 億4,638万1,000円となっており、下段の貸倒引当金1,182万3,000円を差し引いた2 億3,455万8,000円を計上しております。これは国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金へ請求し2 カ月おくれで入ってくるものでございます。(3)貯蔵品、(4)前払金を合わせまして、流動資産5 億4,681万3,000円、資産合計が62億8,719万円となっております。

23ページをお願いします。

負債の部、3 固定負債についてですが、(1)企業債23億5,838万7,000円から(2)リース債務335万8,000円、(3)引当金の1 退職給付引当金6 億5,351万3,000円までの固定負債合計は30億1,525万8,000円を計上しております。4 流動負債につきましては、(1)企業債から(6)のその他流動負債までの合計が2 億7,432万円を予定しております。5 繰延収益の長期前受金30億8,649万9,000円から収益化累計額2 億7,260万9,000円を差し引いた28億1,389万円を計上しております。3 固定負債から5 繰延収益までの負債合計は61億346万8,000円となるものでございます。

24ページをお願いします。

次の資本の部ですが、6 資本金、(1)自己資本金が6 億2,351万2,000円、7 剰余金につきましては、(1)資本剰余金と(2)利益剰余金の合計額が△マイナスの4 億3,979万円となる予定でございます。資本合計は1 億8,372万2,000円で、これに先ほどの負債合計を合わせました負債資本合計は62億8,719万円となり、24ページの資産計と合致するものでございます。

25ページをお願いします。

このページは平成29年度の事業予定キャッシュ・フロー計算書となっております。貸借対照表や損益計算書からでは年度内の資金がどこから調達され何に使われたか直接把握しづらく、企業がどのように資金を調達し何に使用したかを示す、いわば単年度期間の企業の資金繰りをあらかず財務諸表となっております。6の資金期末残高2億9,667万2,000円が25ページの予定貸借対照表の2流動資産(1)現金預金と一致するものでございます。

26、27ページは注記表となっております。有形固定資産の減価償却の方法や引当金の計上方法等を記載しております。

28ページをお願いします。

実施計画明細書です。

この28ページと次の29ページは収入の明細となっております。

款1病院事業収益、項1医業収益、目1入院収益は11億5,003万3,000円で、前年度に比べ3,328万3,000円、3%の増で、説明欄記載のとおり、急性期で1日平均72.7人、1日平均単価3万1,750円、前年度より450円増で見込んでおります。また、療養型は1日平均44人で、診療収入で1日平均1万9,150円、1,350円の増を見込んでおります。

次に、目2外来収益は6億8,754万4,000円を計上しております。前年度より3,351万2,000円、4.6%の減で、1日平均193人、1人1日平均診療収入単価が1万4,600円で250円ほどの減を見込んでおります。

目3その他医業収益といたしまして5,323万3,000円、前年度より16万2,000円で3%の増、内訳といたしまして、節区分1室料差額収益で2,499万7,000円、以下それぞれの金額を計上させていただきます。

医業収益につきましては、平成28年度の診療報酬額を算出基礎といたしております。

29ページをお願いいたします。

款1病院事業収益、項2医業外収益、目2他会計補助金1億8,384万9,000円、目3負担金及び交付金9,580万5,000円につきましては、一般会計からの繰入金です。

目4患者外給食収益は、職員給食料で83万9,000円を計上しております。

目5長期前受金戻入は、補助金等を受けて建設改良事業を行った場合、補助金等は繰延収益に整理され、その事業により取得した固定資産の減価償却に伴い減価償却見合い分を収益化する取り扱いとなっております。長期前受金戻入として計上するものでございます。また、建設改良費に充てた企業債に係る元金償還金に対する繰入金につきましても、資金を受け入れる時点は異なるものの、その趣旨は固定資産取得に係る補助金等に準じたものと考えられますので、原則として長期前受金に整理し減価償却に伴い収益化することとなっております。今年度は4,810万2,000円を計上しております。

目6その他医業外収益は、フィルムコピー代、病院実習謝礼、洗濯料などで469万5,000円を計上しております。

目7資本金繰入収益、これは建設改良費に充てました企業債に係る元金償還金に対する繰入

金について元金償還金に対する繰入額と減価償却額との差額が重要でない場合には全額その年度に収益として計上することができることから、その部分について619万8,000円計上しております。

款1 病院事業収益、項3 特別利益、目1 過年度損益修正益73万1,000円につきましては、長期前受金戻入の一部であります元金償還に対する繰入金の収益化と同様のものになりますが、収益化額は原則、減価償却額に対する繰入額の割合となっており、収益化前の元金償還金に係る繰入金残高を限度とされているため、限度額を上回って収益化できなかった分につきましては後年度繰入金残高を超過しない範囲で収益化することから、この部分を過年度の収益化額として特別利益に計上しております。

30ページをお願いいたします。

このページから35ページまでは支出の明細を記載しております。

目1 給与費についてですが、12億4,517万4,000円、前年度に比べて1,145万8,000円の増、医師7名、看護師54名、准看護師7名、医療技術員35名、事務員12名の計115名分の給料と手当として計上しております。31ページをお願いします。節区分12 賞与引当金繰入額5,636万8,000円ですが、当事業年度の負担に属する支給対象期間相当分を賞与引当金として計上しております。13の賃金は、眼科、耳鼻咽喉科、循環器内科、糖尿病内科等の診療応援や当直応援医師に対する賃金と看護補助者、受付などの臨時職員の賃金となっております。15法定福利費引当金繰入額につきましては、12の賞与引当金繰入額と同様、実際に賞与を支給したときに発生する社会保険料等の法定福利費について引当金を計上しております。29年度は1,073万1,000円を計上しております。

32ページをお願いいたします。

目2の経費についてですが、3億9,248万6,000円、前年度に比べ4,338万7,000円、12.4%の増で、節6 消耗備品費は5,200万円、前年度に比べて5,000万円の増としております。増額の要因といたしましては、新病院建設事業における備品購入費で、固定資産計上ができないような1品当たり10万円以下の什器備品等の購入費を5,000万円程度見込んでいることから、この部分について収益的収支予算において計上させていただいております。この財源につきましては、平成29年度で一般会計からの繰入予定のまちづくり応援寄附金分6,524万3,000円のうち5,000万円を充てることとしており、残り1,524万3,000円につきましては資本的収支予算の4条予算のほうに上げさせていただいております。節7 光熱水費は2,922万3,000円、前年度に比べ208万5,000円、6.7%の減となっております。33ページをお願いいたします。節区分13 賃借料2,730万6,000円、前年度より314万9,000円の増でございます。この賃借料の内訳といたしまして、医師住宅の賃借料で医師の退職等により賃借契約の解約により前年予算より174万8,000円ほどの減額をいたしました。本年に入りましてボイラー設備の故障が発生しております。1基が昭和39年の開院時、もう一基が昭和47年に設置されたもので、新病院建設事業のこともあり、以前から故障のたびに数十万円程度の修繕を繰り返しながら今日に至っております。今回故障しましたのはその古いほうの昭和39年の開院時から使用してのものでございま

して、もう今回の故障をもつてもう修理することが困難な状態に陥りまして、新病院まであと一年数カ月ほどあることから、2基のボイラーのうちその復帰不能な1基についてリースで対応することとしております。平成29年度予算では、リース年間額が388万8,000円を計上しております。節区分15委託料2億1,446万円、前年度より1,009万8,000円、4.5%の減でございます。減額の主な要因といたしまして一般会計予算で説明させていただきましたが、和歌山県立医科大学へ委託しておりますスポーツ温泉医学研究所の委託費3,085万8,000円につきまして、平成28年度までは病院と医大との間で委託契約を締結し一般会計から繰り入れをしていただいておりますが、29年度からは町と医大との委託契約とするため、一般会計衛生費のほうへ移行したことによります。一方、差額の増額の主な要因としまして、医師事務作業補助員の派遣650万9,000円と地域包括ケア病床を設けるに当たりデータ提出加算を取得するための準備としましてDPCデータ作成支援の費用として648万円を計上させていただいております。

34ページをお願いいたします。

目3研究研修費は、研修講師への謝礼、その他学会出席等の研修旅費並びに看護師研修費用等で、昨年と同額を計上させていただいております。

目4材料費4億4,285万円、前年度より4,907万4,000円、約10%の減となっております。

目5減価償却費ですが、1億599万7,000円、前年に比べて216万4,000円、2.1%の増となっております。

目6資産減耗費ですが、1たな卸資産減耗費100万円を計上しております。

35ページをお願いいたします。

項2医業外費用ですが、目1の支払利息及び企業債取扱諸費が1,805万円、前年度に比べ794万1,000円、78.6%の増。

項3特別損失3,900万円、これは前年度に比べ3,000万円の増で、2カ月分の保険請求分の返戻査定分900万円に加え、固定資産除却費として3,000万円を特別損失として計上しております。この固定資産除却費につきましては、新病院へ移る前年度の29年度内に現病院で使用しております10年以上前の備品類について整理をして帳簿上除却することを想定した経費として計上させていただいております。

資本的収入及び支出ですが、収入、項1企業債、目1企業債11億8,150万円を計上しております。内訳は新病院建設事業分となっております。

項2負担金は、過疎債並びに一般会計からの繰入基準による建設改良費企業債償還分で12億4,999万円を計上しております。

項3補助金は、新病院建設事業に対する補助金、地域医療再生臨時特例交付金として1億9,020万円を計上しております。

37ページをお願いいたします。

支出でございますが、項1建設改良費として26億5,447万2,000円を計上しております。

目1建設改良費では1,000万円を計上しており、前年度よりマイナス4,000万円の減としております。節区分1工事請負費500万円は、現病院施設維持補修に充てるものでございます。ま

た、節区分2備品費500万円につきましても、現病院の各種医療機器の購入、基本的には既存機器の故障時に更新のために充てる費用として考えてございます。

目2新病院建設事業費は26億4,159万6,000円を計上しております。節区分1備品費9億円につきましても、新病院における各種医療機器で6億円、同じく新病院に係りますが、病院情報システム、内容は電子カルテシステムと放射線画像診断システム3億円を想定しております。新病院における各種医療機器につきましても、予算書の3ページから4ページにわたるところに重立ったものを計上させていただいております。6億円の予算を考えておりますが、その半分ぐらいが画像診断部、放射線部門に係る部門で、残りの半分ぐらいも主に手術室に係る機器でございます。

続きまして、節区分2委託料5,689万円は、主に新病院移転業務委託、新病院建設支援業務委託と経営改善支援業務委託に係る費用でございます。節区分3病院施設整備費16億6,872万円は、平成29年度分の建物本体工事の費用でございます。

恐れ入ります、議案第14号の関係資料のほうをお願いいたします。

これは新病院建設事業の総合工程表でございます。こちらには主な工程のほか、月末現在における工事の出来高が折れ線グラフで記されております。

表の下のほうをごらんください。出来高の予定と実績が縦に並んで記載されております。

2月末現在では、ともに17.8%と工事は予定どおり進捗してございます。

なお、工事の竣工は2018年、平成30年1月15日、新病院の稼働は同年4月1日を予定しております。

資料の説明は以上でございますので、恐れ入ります、予算書37ページの続きをお願いいたします。

目2新病院建設事業費、節区分4給料、5手当、6法定福利費でございますが、新病院建設室の職員2名分の人件費でございます。

目3リース資産購入費287万6,000円は、企業会計システム、栄養管理システムに伴うリース料を計上しております。

38ページをお願いいたします。

項2企業債償還金1,621万8,000円は、前年度に比べ19万2,000円の増となっております。

項3看護師等貸付金220万円を計上しております。看護師が月額5万円、年間60万円の2名分、残りは理学療法士等年間50万円の2名分を予定しております。

説明につきましては以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○副議長（曾根和仁君） 質疑を行います。

〔「休憩しようよ、休憩」「一旦休憩しよう、休憩しよら」と呼ぶ者あり〕

休憩します。再開10時40分。

~~~~~ ○ ~~~~~

10時26分 休憩

10時40分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○副議長（曾根和仁君） 再開します。

質疑を行います。

3番下崎君。

○3番（下崎弘通君） ちょっと1点だけお尋ねします。

3ページなんですけども、取得する資産ということで11項目の備品等のあれ記載されているんですけども、金額が全部で約9億円ぐらい必要だということで、大きな金額が必要となってくるんですけども、今後どのようにこの内容等、入札とかそういう面いろいろ出てくるんですけども、その関係の対応ですね、今後の対応どのようにされるのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えいたします。

新病院に係る備品購入につきましては、予算書に載っております機器の一式っていうのは重立った大きな1,000万円以上するような機器でございまして、実情を補足させていただきますと、購入予定が小さいものまで含めて1,422点、現病院から移設するのがおよそ980点ほどを今のところ考えております。その中で大きな重立ったものが、先ほど予算書に上げさせていただいているものでございます。そこら辺も含めて購入予定の小さいものまで含めて1,400点近くで6億円、備品のほうで6億円を予定している状態です。

当然備品購入に関しましては、各必要なところを十分に精査いたしましてきちんと入札等をして購入をする予定でございます。

また、詳細につきましては、その時点の決算あるいは特別委員会のほうで御報告させていただくようにいたしたいと考えております。

ちなみに、余分の3億円のほうの病院の情報システムなんですけども、画像診断の関係のシステム系と電子カルテの関係のシステム系となっております。それぞれもう現病院で導入しまして5年置きまして、いわゆる一般的に言うリプレースの時期にちょうど新病院が当たる時期にございます。病院が存続してのリプレースだったらそれほど今の現有機器を何とか使ったりシステムを調整しながらっていうことは割と行きやすいんですけども、新病院に当然移転することもございまして、時期的に調整分の機器が調整するのがどうしても半月ほどかかったりする関係もございまして、同時タイミングでリプレースを考えております。

ちなみに、新病院のほうでは3月31日まで現病院で営業して、4月1日からは新病院っていうことから、当然3月ぐらいのときはもう同時に両方の病院で準備、調整等をしていかなければならないということもございまして、そこら辺を特に注意していきたいと考えております。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○副議長（曾根和仁君） 3番下崎君。

○3番（下崎弘通君） よくわかりました。

この備品類につきましても金額が大変高額なものもあるわけなんですけども、その企業会計という議決事項のほうに入ってこないというようなことで、もう議会のほうがわからない間を買ってるというこれまでのこともあったんで、今新病院特別委員会が設置されてる中で十分その業者選定とか機種選定、そういう面については十分報告なり協議なりをしていただきたいと思います。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） 議員御指摘のとおり、特にやっぱり新病院という大変大きな事業でございますので、議会のほうで特別委員会を設けていただいておりますので、特別委員会のほうで詳細な部分にわたって御報告をさせていただきながら事業を進めていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

○副議長（曾根和仁君） ほかに質疑はありませんか。

5番石橋君。

○5番（石橋徹央君） 1点お尋ねします。

37ページの目2節2委託料、委託料3項目ありますけども、この委託内容をちょっと説明を求めます。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えいたします。

37ページ、新病院建設事業費の2委託料の部分ですが、まず新病院の移転業務委託っていいますのは、いわゆる引っ越しに係る業務委託でございます。病院の移転といいますと大変大きな事業でして、病院の職員も当然そうなんですけども、ある程度そういう事業について実績のある業者に移転業務自体を委託して行うものと考えております。

新病院建設支援業務委託につきましては、新病院の建設が始まった時点からお願いしております、先ほどの備品の購入等の部分に係るような部分のコンサルへの委託料でございます。

経営改善支援業務委託というのは、ちょうど今年度からお願いしてる改革プランの部分で支援業務を委託しておるんですけども、それを継続して、まして引っ越し年度である29年度にかかって事務部門も当然経営改善もしながら引っ越しのほうの準備をしないといけないということから、改革プランの実行について確実に進めていくために経営改善支援という部分で業務委託を予定しております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

〔「金額、金額」「金額」「大体」「数字を上げて」と呼ぶ者あり〕

濟いません、ちょっと細かい資料なんですけども、引っ越しのほうで4,400万円ほど、新病院の建設支援業務委託がたしか三百数十万円ほどだったと思います。経営の改善支援業務委託のほうでは1,200万円ほどを予定しております。

以上でございます。

○副議長（曾根和仁君） 5番石橋君。

○5番（石橋徹央君） 同じく委託料の中段、新病院建設支援業務委託、この部分で新病院で新規で購入される備品の機種を選定等もこの委託先で行われるのでしょうか。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えします。

そのコンサルさんをお願いしてその備品の購入に係るものについてはお手伝いをさせていただいてる部分もございます。機器の選定につきましては、病院のスタッフ、医師及び医療技術員等の意見を聴取していただきながらその機種を選定をしているところでございます。

以上でございます。

○副議長（曾根和仁君） 質疑はありませんか。

1番荒尾君。

○1番（荒尾典男君） この予算のほうの最初作成に当たってですが、先ほどお伺いしたら、入院収益の場合1日平均72.7人、今まで大体最大で69.8人ぐらいですね、決算でいくと。1日診療収入が大体3万1,750円になってますけど、平均値、この急性期で。今まで3万円超えてないですね、大体決算でね。あと、この療養型ですね、療養型もそうなんですけど、人数もここ44人、1日平均になってますが、今最近ちょっと頑張り過ぎたあるというんか、1人当たりの平均の単価が1万3,500円ぐらいから、今回1万9,000円ぐらいまで持ってこかということはかなり無理して持っていったら負担かかってくると思うんですが、これは1万7,030円言うたかな、この前の決算では。これでもかなりの金額が上がってきたあるんやけど、そういうふうな数字を足して行って予算化していくと思うんですが、この予算足していく基本的な部分の数字が現実離れた部分があると思うんで、ここら辺決算と見合わせてしっかりした予算を立てていかないと病院の経営自体の改善というのではないと思うんですが、そこら辺予算立てるときにもっとしっかりしたほうがいいと思うんですが。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えいたします。

病院の3条のほうの収益の御指摘でございます。議員御指摘の部分も前年の決算等の数字から御指摘いただいているんですけども、予算を作成するに当たって一番近年の今年度の途中経過も参考にいたしております。ここ数年医療先生方及び看護部門が頑張っていた部分もございまして、例に見ますと、1月の時点ですが、入院のほうで前年度に比べ単価のほうでは1,200円近く上がってきております。また、療養型のほうでも同じく1,500円ほど近く単価が上がってきておまして、あとは病室の稼働率のほうも前年と同じぐらいに基本的に頑張ってきていただいている状況でございます。

今の看護スタッフの数からいくと、どうしても病床稼働率っていうのが70%前後っていうところになってしまっておりますけども、そこら辺看護スタッフも補充を強化していきながらそれぞれ単価のほうの増収に向けていきたいと考えております。

議員御指摘のとおり、もっと精細に収益のほうを分析して今後の課題としたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

○副議長（曾根和仁君） 1 番荒尾君。

○1 番（荒尾典男君） 今の1月のやつはまだしてもらってませんが、近々の情報っていうようなところで組んでいったということですが、とりあえず年平均の決算っていうのもありますから、そこら辺からまた酌み上げていって、一番今回の場合は、その一番最近の売り上げ、情報をもとにして立てたと思うんですが、これからは年平均の分で決算と近々の情報と合わせていって実際できるぐらいの金額を上げていかないと、決算とのずれというのがかなりありますんで、そこら辺しっかりした予算立てっていうのをお願いしたいと思います。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えします。

議員御指摘の部分も加味いたしまして、今後の予算編成等に参考にさせていただきたいと考えております。よろしくお願いたします。

○副議長（曾根和仁君） 10番津本君。

○10 番（津本・光君） 5 ページの外来収益のところでは予定の193名と書かれてるんですが、去年の決算のときに5,600名の減だという話がありましたですね。そやから、その点でもしその前に、去年昨年度の決算のその前の患者数もわかれば知りたいんですが、外来のほうのことしの見通しですね、外来患者のやつの見通しで、去年は5,600人減だったということで聞いたんですが、ことしは何名ほどの目標にして、今見通しとしてはこんなもんだというのがわかったら教えていただきたいんですが。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えします。

済みません、ちょっと昨年度までの資料を現在持っておりませんので、また後ほどお答えさせていただきます。

今年度につきましては、先ほど1 番議員の御指摘もあったんですが、外来については確かに今年度につきましては幾らか前年度までよりは若干悪い状況が続いております。特に前半部が悪い状況でしたんですが、ここ最近、ここ数カ月にわたっては200人程度の外来の状態となっております、それを踏まえて当分診療部門のほうで頑張ってくださいようお願いをしている状況でございます。

今年度の見込みにつきましては、現時点では累計上は前年度に比べてやっぱりちょっと前半部が悪かったこともございまして180名程度に、平均ですけども、なろうかと考えております。

以上でございます。

○副議長（曾根和仁君） ほかに質疑はありませんか。

12番東君。

○12 番（東 信介君） 37ページなんですけど、先ほど5 番議員さんも聞かれた委託料です、新病院の。この病院移転業務委託の引っ越し、これ単純な引っ越しと、あと機械の移転みたいな、そういう引っ越しも、その割合とかというのどうなってるんかというのと、あと単純な

引っ越しの場合、この業者さん、どのような業者さんを考えられたあるんか、その辺、済
いません。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えします。

引っ越しに関して、業者を具体的な計画をまだ完全には立てていないんですけども、基本的
には同一業者で考えております。

当然単純な部分の引っ越しもありますけど、大変重きを置くのが患者様の引っ越しという部
分もございますので、そこら辺はそういう病院の引っ越しにたけている業者を選定させていた
だいて業務に当たるように考えております。

以上でございます。

○副議長（曾根和仁君） 12番東君。

○12番（東 信介君） 単純な物の引っ越しと患者さんの引っ越しと、あと機械のCTとかMRI
とか、そういう引っ越しと3種類と考えたらええんかな、これは。

〔「新しゅうなるん」と呼ぶ者あり〕

その辺、例えば今ある機械類の引っ越しとか、同じ業者さんでやられるんですか。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えします。

先ほどのような、具体的な内容まではきちっとまだ詰め切っておりませんが、大きな機
器は、先ほど予算計上させていただいたような大きな機器につきましては引っ越しができない
し、耐用年数もかなり過ぎてる機械ですので、新病院のほうに購入して設置をする予定でござ
います。

持っていける小さいまだまだ使用できるものにつきましては、当然ぎりぎりまで営業してお
りますので、残りの土日ぐらいに集中して引っ越しということになる予定でございます。その
分も含めて、基本的には幾つかの業者っていうよりも同一業者でっていうことになるんではな
いかなとは考えております。

以上です。

○副議長（曾根和仁君） 12番東君。

○12番（東 信介君） コンサルさんとかそういうのがあってこういう業者ということがもとも
とやられたとこにどういうふうにやられてるんかというて聞くんやと思うんですけど、その辺
はそういう感じで考えたらええんかな。

○副議長（曾根和仁君） 病院事務長喜田君。

○病院事務長（喜田 直君） お答えします。

ちょうど幸いというか、新宮保健医療圏内に過去近い年代で新宮医療センターであったり
とか、串本病院であったりとか、引っ越しを経験した病院もございますので、各病院に詳細を
またお伺いしながら参考にして、そういう引っ越しに対する事業を滞りなく進めていきたいと
考えております。

以上です。

○副議長（曾根和仁君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 質疑を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 討論を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

議案第14号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（曾根和仁君） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

11時01分 散会